

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Our Vision（2030年）

お客さまの最良のビジネスパートナー、SDGs経営で未来に選ばれる企業、社員のチャレンジと成長を応援する企業、デジタル先進企業

経常利益
2,200億円親会社株主帰属純利益
1,250億円ROE
10%以上自己資本比率
10%以上

② 中長期の経営戦略

1. 新ビジネスと既存強化

資産回転型ビジネス加速、航空機・不動産でAM事業本格化、事業投資強化

3. DX・AI活用

AI活用ソリューション本格化、金融×事業×DXビジネスモデル展開加速

2. グローバル連携体制

ホールセール部門新設、グローバルビジネス部門新設で部門統合と連携推進

4. 経営基盤強化

人材確保育成、リスク管理体制構築、監査役会設置会社移行でガバナンス強化

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・地政学リスク顕在化による成長下振れ懸念
- ・物価上昇圧力による景気下押し可能性
- ・通商政策不確実性、サプライチェーン混乱

② 事業規模拡大への対応

- ・事業領域拡大に伴う組織体制の最適化
- ・グローバル・グループベースの事業展開対応
- ・多様化する役職員への人材マネジメント

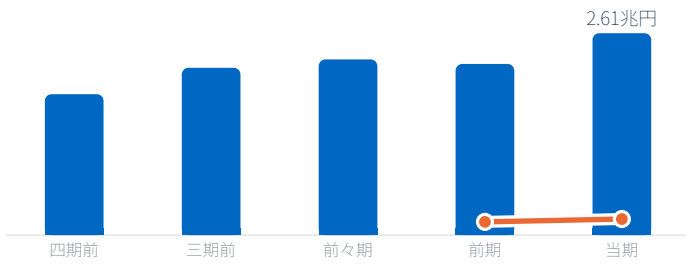
③ 持続可能な成長基盤

- ・2030年カーボンニュートラル、Scope1,2を42%削減
- ・サステナブル関連ビジネス契約額累計1兆円（2030年度まで）
- ・女性管理職20%達成、DXソリューション3,500社提供

面接で使えるポイント

- ・2026～2028年度中期経営計画で4つのスコープ10の戦略を推進し、2030年Our Vision実現を目指す
- ・幅広い金融機能、モノに関する知見、DXの力を掛け合わせた独自のソリューション提供
- ・グローバル・グループ連携強化とAI活用で金融×事業×DXビジネス展開を加速

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2.61兆円営業利益率
8.0%財務健康度
33点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 64.9（当サイト算出の参考指標）

要するに

「国内リース事業」、「地球環境事業」、「不動産事業」

主力事業・セグメント

- ・国内リース 34.8%
- ・運輸 33.0%
- ・不動産 24.9%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2.61兆円の大企業
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収
990万円平均年齢
42.0歳平均勤続
13.0年女性管理職
16.4%男性育休
105.4%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

